

SUP-GS/MSSP

**online Support Package – Global Server
Message Send Service Procedure**

CORBA通信帳票出力支援ツール

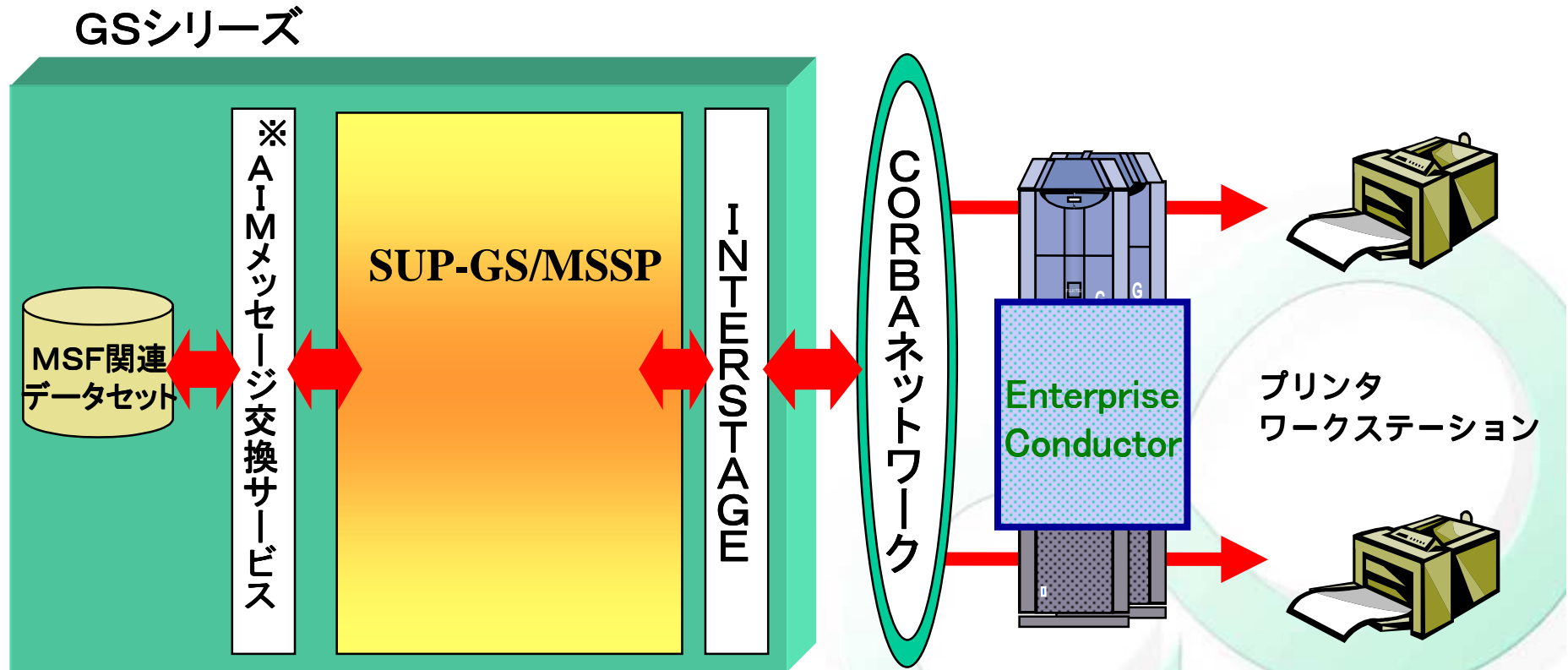
株式会社 富士通アドバンストソリューションズ

目次

1. 目的
2. 製品の位置づけ
3. 製品の構成
4. 提供機能
 4. 1 運用機能
 4. 2 送信機能
 4. 3 再送機能

1. 目的

SUP-GS/MSSPは、メッセージ配信業務を行うシステムの構築をサポートし、Enterprise Conductorを中継して接続されるプリンタワークステーションへの帳票メッセージの送信を行います。

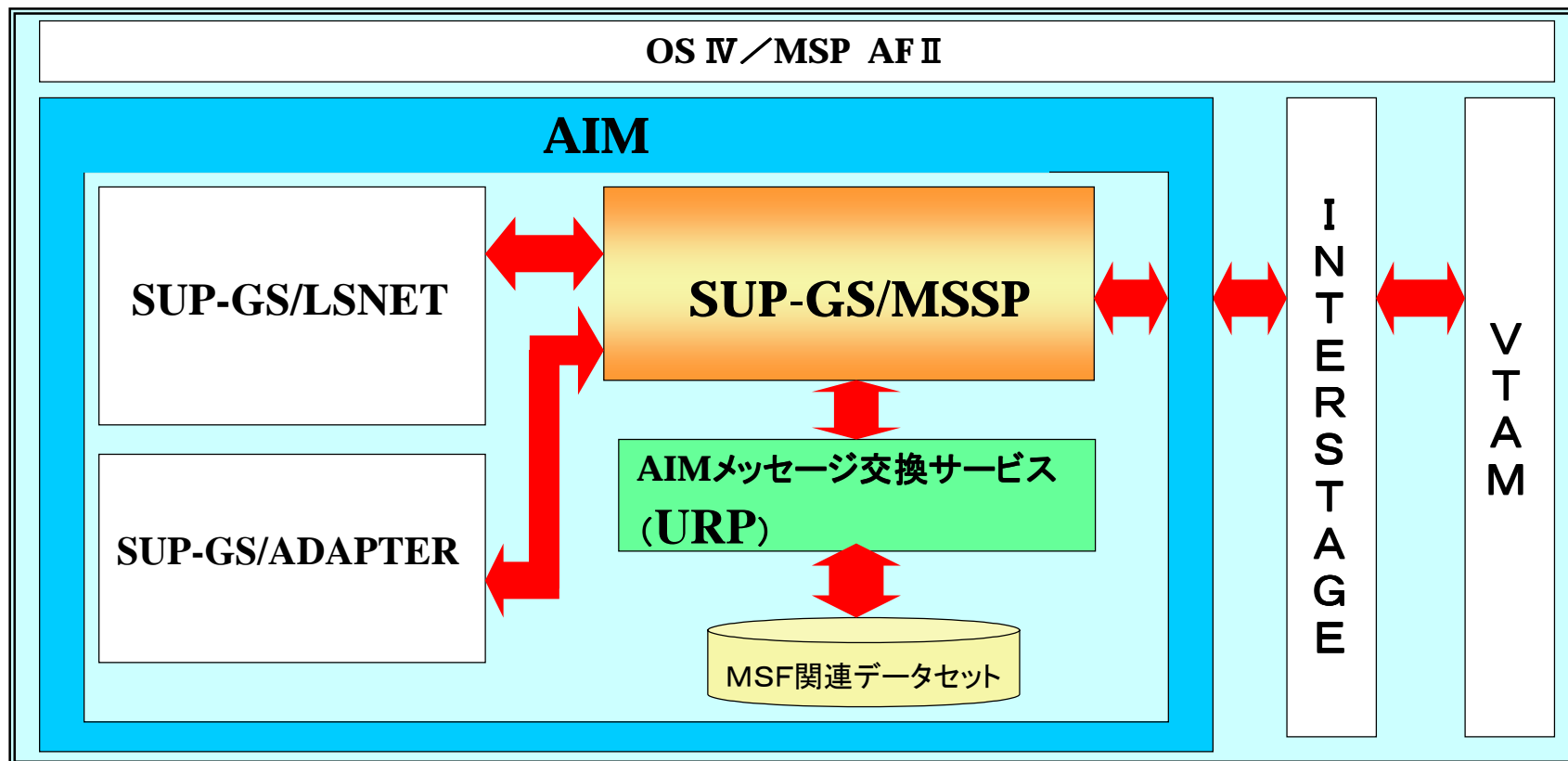


※ URP

2. 製品の位置づけ

SUP-GS/MSSPは、グローバルサーバ上でAIM配下のAIMメッセージ交換サービス(URP)と連携するアプリケーションとして動作します。

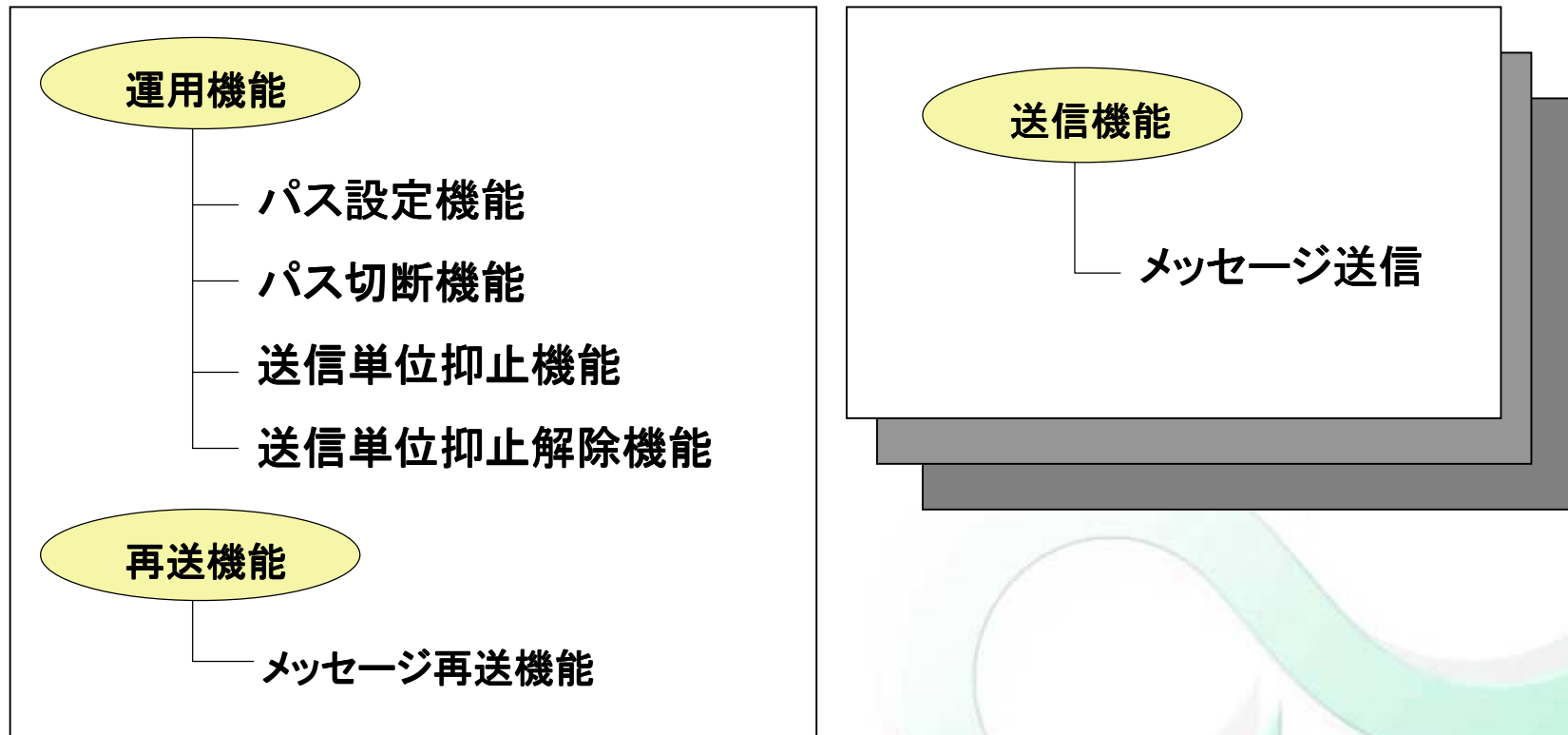
グローバルサーバ



3 . 製品の構成

SUP-GS/MSSPは、運用ジョブと送信ジョブの2つのジョブで構成され、ひとつの運用ジョブと複数の送信ジョブがひとつのシステムとして動作します。
このシステムはクラスタ内、およびクラスタ間を問わず複数動作することができます。

SUP-GS/MSSPシステム



4 . 提供機能

運用機能

AIMメッセージ交換サービス(URP)を導入する上で必要なプログラム群を提供します。

APIとして提供される機能を操作コマンドインターフェースで提供することにより、操作性の向上及び利用者におけるアプリケーション開発の負担軽減を図ります。

送信機能

IIOP(CORBA通信)によるEnterpriseConductorとの同期通信を行い、AIMメッセージ交換サービス(URP)からスケジュールされた帳票メッセージを、プリンタワークステーションへ送信します。

再送機能

送信異常により送信できなかった、または一度送信したが再び送信したい帳票メッセージ等の「送信済み」とされている帳票メッセージをメッセージ送信時のプリンタワークステーション、もしくは異なる送信単位へ再送することができます。

4.1 運用機能

● パス設定機能

論理あて先(LD)と送信単位(SU)の間にパスを設定し、双方を論理的に結合します。
論理あて先とは、AIMメッセージ交換サービス(URP)が設けている帳票メッセージを出力するための論理的なあて先で、この場合の論理的な送信先となるのが、送信単位です。

● パス切断機能

上記のパス設定機能により設定した論理あて先と送信単位のパスを切断し、双方を論理的に切り離します。

● 送信単位抑止機能

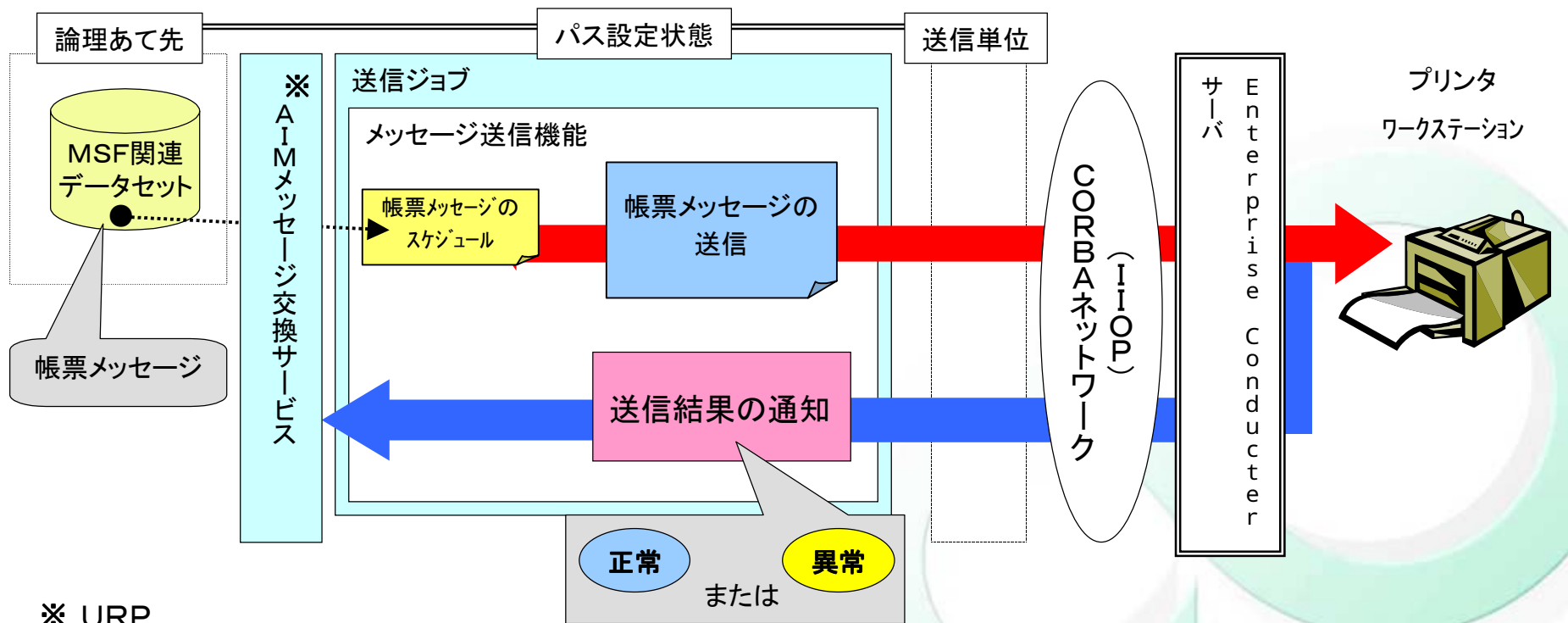
論理あて先と送信単位のパスを設定すると、AIMメッセージ交換サービス(URP)から、SUP-GS/MSSPのメッセージ送信機能にスケジュールされ、帳票メッセージが送信されます。
この機能は、送信単位を抑止状態にすることで、スケジュールを停止させ帳票メッセージの送信を一時的に中断させます。

● 送信単位抑止解除機能

送信単位を抑止状態を解除します。これにより、送信単位が抑止状態のために一時中断していた帳票メッセージの送信を再開させます。

4.2 送信機能

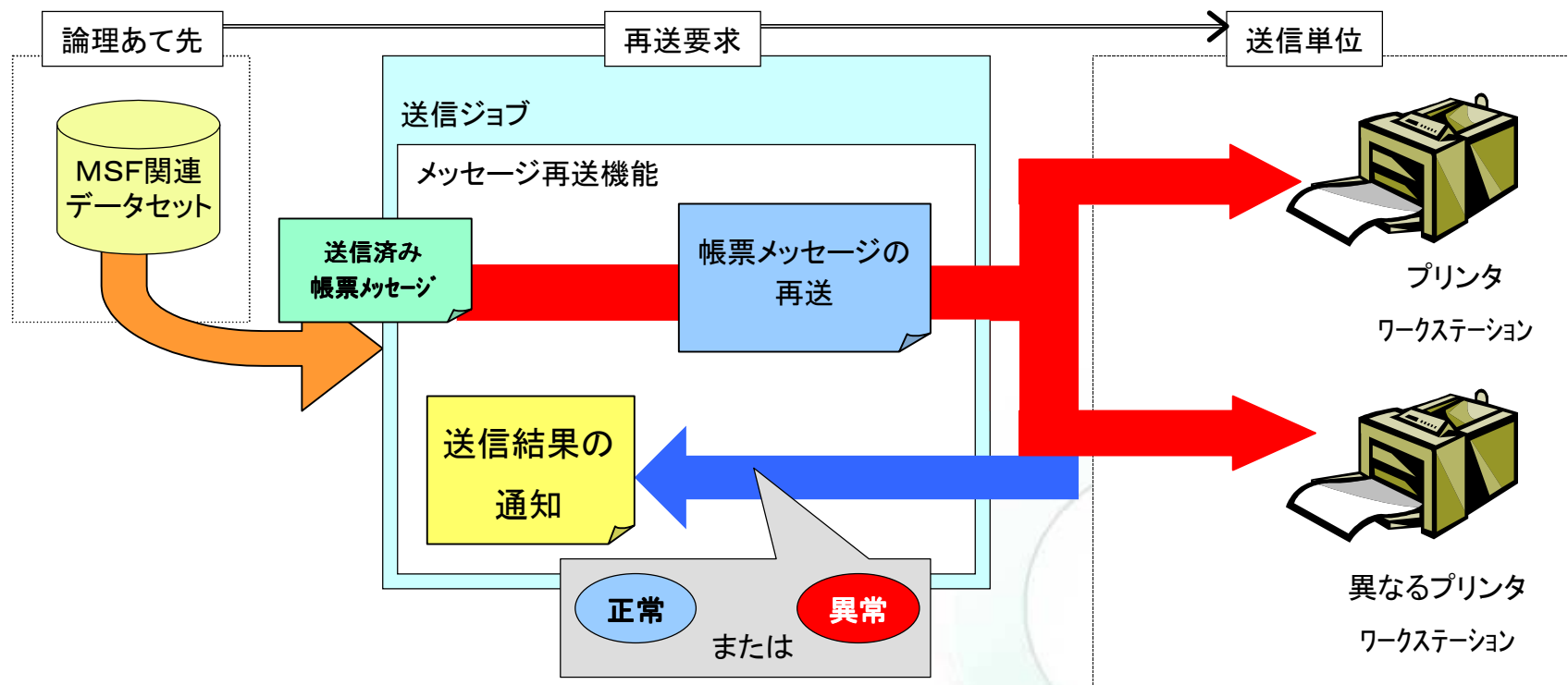
IIOP(CORBA通信)によるEnterpriseConductorとの同期通信を行い、AIMメッセージ交換サービスからスケジュールされた帳票メッセージをプリンタワークステーションへ送信します。
送信した帳票メッセージに対する応答をEnterpriseConductorから受け取ったり内容に応じて「正常」「異常」の送信結果を通知します。





※ URP

4.3 再送機能

送信異常により送信単位へ送信できなかった、または一度送信したが再び送信したい帳票メッセージ等の「送信済み」とされている帳票メッセージをメッセージ送信時に送信単位、もしくは異なる送信単位へ再送することができます。






FUJITSU

THE POSSIBILITIES ARE INFINITE

